

事業評価について・見通し

(1) 前回の議論

※ 別紙議事録を参照

(2) 評価シートの作成

ロジックモデルの手法に準じて作成している

- ①インプット…用いた資源
- ②プロセス…戦略や手段の計画
- ③アウトプット…実施内容、実績
- ④アウトカム…どういう反応が得られたか
- ⑤インパクト…波及効果

※別紙評価シート（AM04 展、加藤アキラ展）を参照

(3) シート作成の目的、手法

業務の振り返り、課題や実績の引継ぎ

評価すること自体は目的ではない。

習慣化しておく。評価表をかつちり作りすぎると、労力が追いつかなくなってしまう。

(4) 実施に向けた検討事項

① 評価方法 → 現時点では「1.」のみ

- 1.施設自体が振り返りを行う自己評価
- 2.公立施設では設置者である行政側の視点からの行政評価
- 3.それらに加えて、外部有識者が委員会などを設置してコメントする第三者評価

②作成業務の範囲

- 1.展覧会事業
- 2.教育普及事業
- 3.地域アートプロジェクト事業
- 4.美術品収集・管理事業
- 5.文化支援事業
- 6.管理運営事業（コミッションワーク・研究紀要・新規施設整備）

③評価シート作成時期及び回数 ……展覧会毎に作成

- 1.→展覧会開始前（計画・見通し）、終了後（評価）
- それ以外 → 事業実施前、（計画・見通し）、終了後（評価） 年1回